

Dell EMC PowerEdge T40

仕様詳細ガイド

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: Dell EMC PowerEdge T40 システムの概要	4
コンピュータの正面図.....	5
システムの背面図.....	6
章 2: 技術仕様	7
シャーシ寸法.....	8
システムの重量.....	8
プロセッサの仕様.....	8
対応オペレーティングシステム.....	9
PSU の仕様.....	9
システム ファンの仕様.....	9
システム バッテリーの仕様.....	9
拡張カードの仕様.....	9
メモリーの仕様.....	10
ストレージコントローラの仕様.....	10
ドライブの仕様.....	10
ドライブ.....	10
オプティカルドライブ.....	11
ポートおよびコネクタの仕様.....	11
USB ポートの仕様.....	11
NIC ポートの仕様.....	11
シリアル コネクタの仕様.....	11
DisplayPort の仕様.....	11
ビデオの仕様.....	11
環境仕様.....	12
温度に関する制限のマトリックス.....	13
粒子状およびガス状汚染物質の仕様.....	13
章 3: システム診断とインジケータ コード	14
前面パネルのインジケータ コード.....	14
NIC インジケータコード.....	14
電源装置ユニットのビルトイン セルフ テスト.....	15
電源ユニットの障害を確認する手順.....	15
ePSA (強化された起動前システム アセスメント) 診断.....	16
ePSA 診断の実行.....	16
診断.....	16
診断エラーメッセージ.....	17
システムエラーメッセージ.....	20

Dell EMC PowerEdge T40 システムの概要

Dell EMC PowerEdge T40 システムは、以下のものをサポートするタワー システムです。

- インテル Xeon E シリーズ プロセッサ、インテル Core i3 プロセッサ、インテル Pentium Gold プロセッサのいずれか 1 基
- 最大 3 台の 3.5 インチ ケーブル接続式 SATA ドライブ
- UDIMM スロット (4)
- ケーブル接続式 AC 電源装置ユニット (PSU)(1)

サポートされている PSU の詳細については、「[ドライブ仕様](#)」の項を参照してください。

① | メモ: SATA ドライブおよび SSD のすべてのインスタンスは、特に指定のない限り、本文書内ではドライブと呼ばれます。

トピック :

- [コンピュータの正面図](#)
- [システムの背面図](#)

コンピュータの正面図

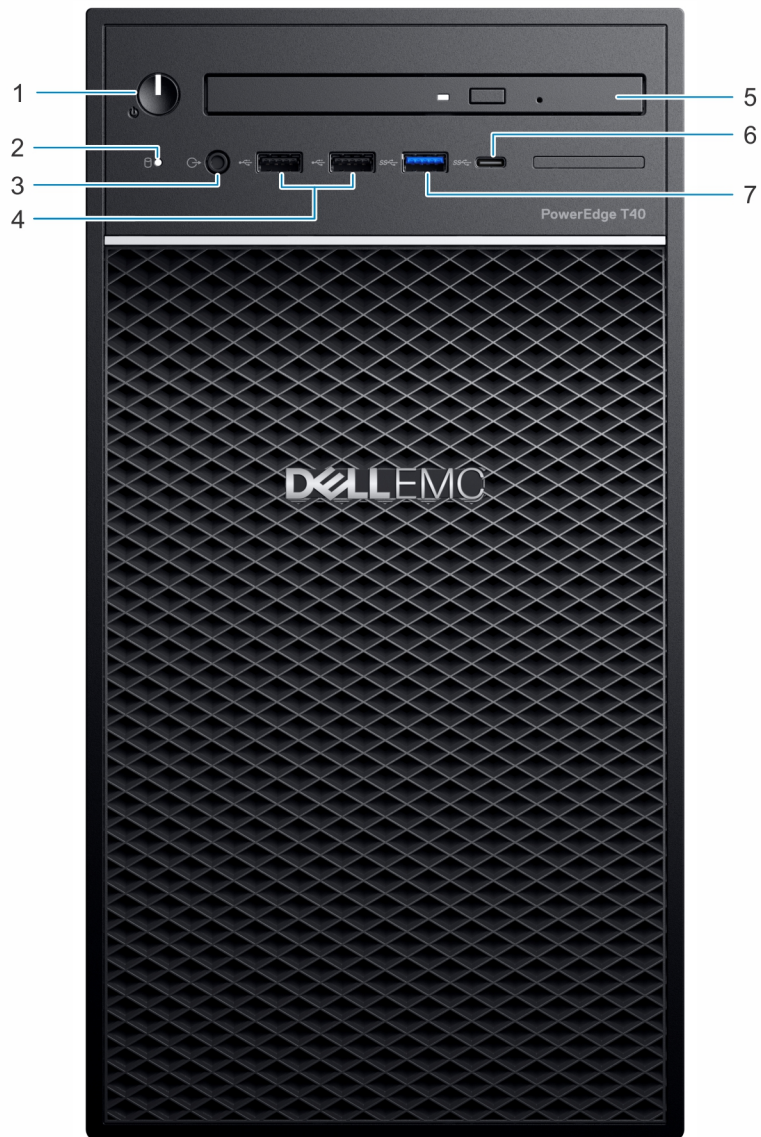


図 1. コンピュータの正面図

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 電源ボタン/診断インジケータ | 2. ドライブアクティビティ LED インジケータ |
| 3. 3.5 mm ヘッドフォン ポート | 4. USB 2.0 Type-A ポート (2) |
| 5. オプティカルドライブ | 6. USB 3.1 Type-C ポート |
| 7. USB 3.0 Type-A ポート | |

ポートの詳細については、「[ポートおよびコネクタの仕様](#)」の項を参照してください。

システムの背面図

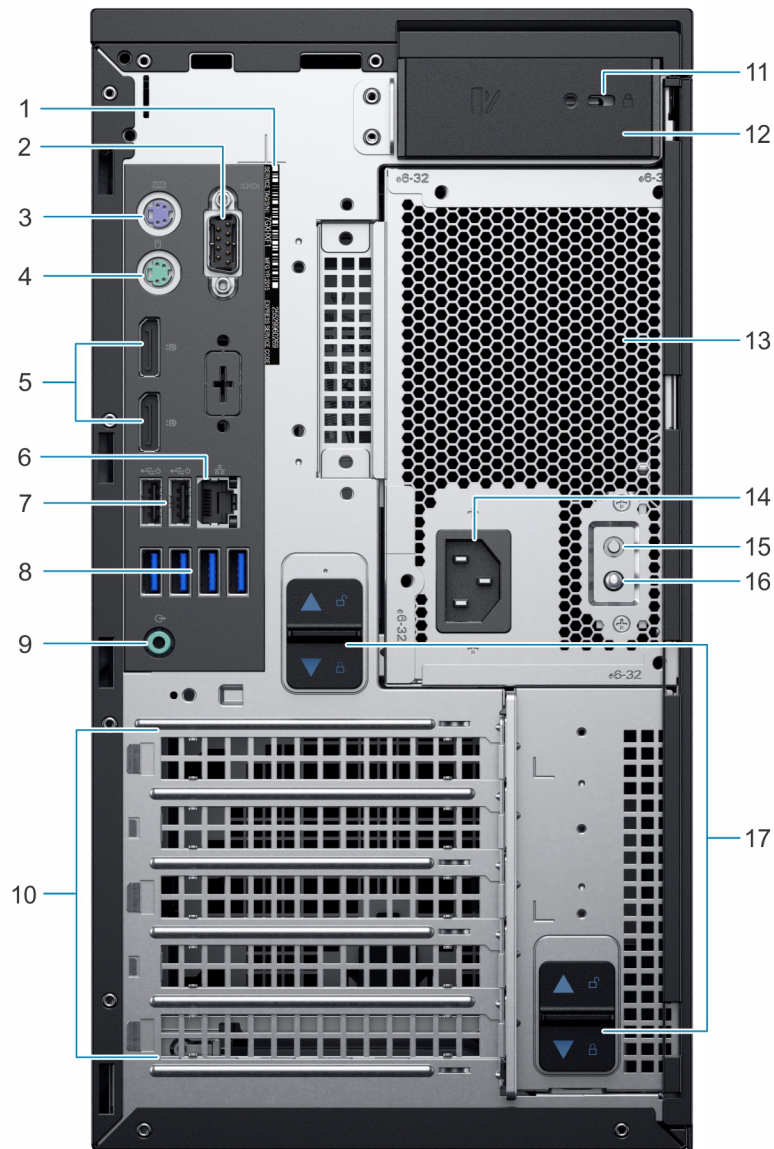


図 2. システムの背面図

- | | |
|---|--|
| 1. サービスタグ | 2. シリアルポート |
| 3. PS2 ポート (キーボード) | 4. PS2 ポート (マウス) |
| 5. ディスプレイ ポート (2) | 6. NIC ポート |
| 7. USB 2.0 Type-A (SmartPower を含む) (2) | 8. USB 3.0 Type-A ポート (4) |
| 9. オーディオ ライン出力ポート | 10. 拡張カードスロット (4) |
| 11. Kensington/パドロック スロット | 12. システムのカバー リリース ラッチ |
| 13. 電源装置ユニット (PSU) | 14. 電源コネクタポート |
| 15. 電源装置ユニット (PSU) のビルトイン セルフ テスト (BIST) のボタン | 16. 電源装置ユニット (PSU) のビルトイン セルフ テスト (BIST) LED |
| 17. PSU アセンブリー リリース ラッチ | |

メモ: ポートとコネクタの詳細については、「[ポートおよびコネクタの仕様](#)」の項を参照してください。

技術仕様

本項では、お使いのシステムの技術仕様と環境仕様の概要を示します。

トピック：

- シャーシ寸法
- システムの重量
- プロセッサの仕様
- 対応オペレーティングシステム
- PSU の仕様
- システム ファンの仕様
- システム バッテリーの仕様
- 拡張カードの仕様
- メモリーの仕様
- ストレージコントローラの仕様
- ドライブの仕様
- ポートおよびコネクタの仕様
- ビデオの仕様
- 環境仕様

シャーシ寸法

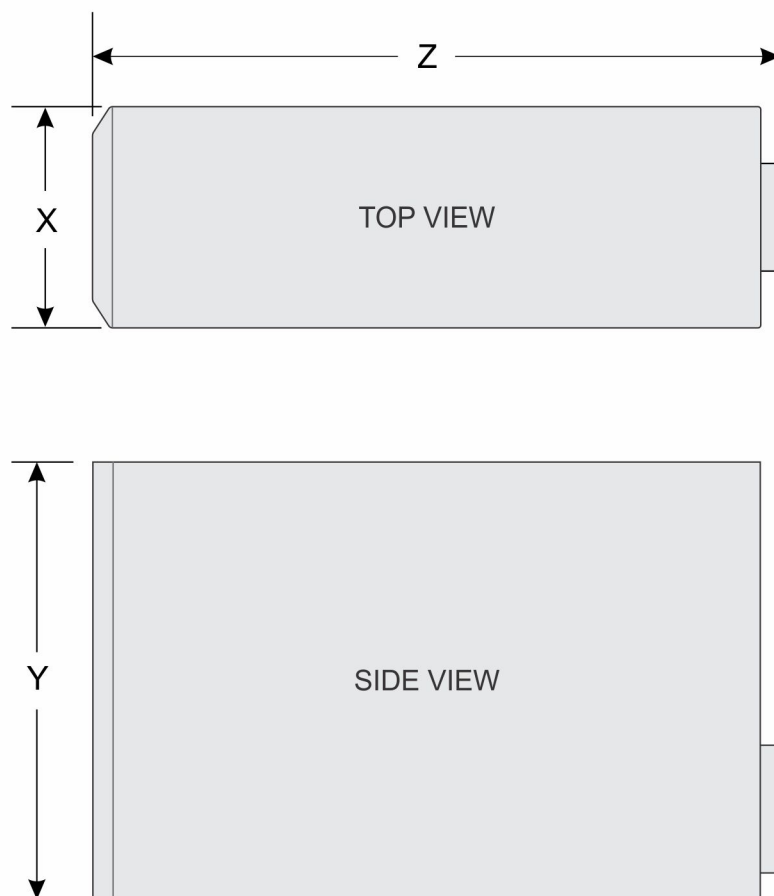


図 3. シャーシ寸法

表 1. PowerEdge T40 シャーシ寸法

X	Y	Z
176.6 mm (6.95 インチ)	335 mm (13.18 インチ)	359.5 mm (14.15 インチ)

システムの重量

表 2. PowerEdge T40 システムの重量

システム設定	最大重量 (すべてのドライブ/SSD を含む)
1x 3.5 インチドライブ	8.4 kg (18.52 lb)

プロセッサの仕様

PowerEdge T40 システムは以下のプロセッサをサポートします。

表 3. プロセッサの仕様

サポートされるプロセッサ	モデル	UMA グラフィックス
インテル ジーオン E	E シリーズ	インテル UHD グラフィックス P630
Intel Core i3	i3-9100	インテル UHD グラフィックス 630
インテル ペンティアム Gold	G5400	インテル UHD グラフィックス 610

① **メモ:** プロセッサの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

対応オペレーティングシステム

PowerEdge T40 は、次のオペレーティングシステムをサポートしています。

- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2019
- Ubuntu 18.04 LTS

① **メモ:** 詳細については、www.dell.com/ossupport を参照してください。

① **メモ:** 特定のバージョンおよび追加の詳細については、<https://www.dell.com/support/home/Drivers/SupportedOS/poweredge-T40> を参照してください。

PSU の仕様

PowerEdge T40 システムは、単一のケーブル接続式 AC 電源装置ユニット (PSU) をサポートします。

表 4. PSU の仕様

PSU	クラス	熱消費 (最大)	周波数	電圧	現在
300 W AC	Bronze	1,024 BTU/ 時	50 ~ 60Hz	100 ~ 240 V AC、オートレンジ	6A

① **メモ:** 熱消費は PSU のワット定格を使用して算出されています。

① **メモ:** PowerEdge T40 システムは、相間電圧が 240 V 以下の IT 電力システムに接続できるようにも設計されています。

システムファンの仕様

PowerEdge T40 システムは、次のファンをサポートしています。

- システム上部にある 1 台のシステム冷却ファン
- ヒートシンクにある 1 台のプロセッサ冷却ファン

① **メモ:** システム構成を選択またはアップグレードする場合は、最適な電力使用を達成できるように、[Dell.com/ESSA] で入手できる Dell Energy Smart Solution Advisor でシステムの電力消費量を検証します。

システムバッテリーの仕様

PowerEdge T40 システムは、CR 2032 3.0-V コイン型リチウム電池システムをサポートします。

拡張カードの仕様

PowerEdge T40 システムは、最大 3 つの PCI express (PCIe) Generation 3 および 1 回限りの PCI カードをサポートしています。

表 5. システム基板でサポートされている拡張カード スロット

PCIe スロット	スロット タイプ	プロセッサの接続	PCIe スロットの高さ	アドイン カードの最大長
スロット 1	PCIe x16 Gen3	プロセッサ	フルハイト	ハーフレンゲス
スロット 2	PCI	プラットフォームコントローラハブ	フルハイト	ハーフレンゲス
スロット 3	PCIe x4 Gen 3 (オープン エンド)	プラットフォームコントローラハブ	フルハイト	ハーフレンゲス
スロット 4	PCIe x4 Gen 3 (オープン エンド)	プラットフォームコントローラハブ	フルハイト	ハーフレンゲス

① **メモ:** 拡張カードはホットスワップ対応ではありません。

メモリーの仕様

△ **注意:** Dell では、修正不能なシステム エラーやデータ ロス、サイレント データ破損を最小限に抑えるために、ECC DIMM を使用することをお勧めしています。非 ECC DIMM はミッションクリティカルなアプリケーションには使用されません。

① **メモ:** ECC DIMM と非 ECC DIMM の混在はサポートされていません。

① **メモ:** 非 ECC DIMM は、選択された国でのみサポートされます。詳細については、セールス担当者にお問合せください。

表 6. メモリーの仕様

DIMM のタイプ	DIMM の容量	最小 RAM	最大 RAM
UDIMM、DDR4、ECC/非 ECC	8 GB	8 GB	32 GB
	16 GB	16 GB	64 GB

表 7. メモリモジュールソケット

メモリモジュールソケット	速度
288 ピンソケット 4 個	2666 MT/秒

① **メモ:** プロセッサの機能に基づいて、メモリーのスピードが 2666 MT/s から 2133 MT/s にダウングレードされる可能性があります。

ストレージコントローラの仕様

PowerEdge T40 システムは、CPU (Intel VROC) ソフトウェア RAID で Intel Virtual RAID をサポートしています。

① **メモ:** Intel VROC は、RAID モード 0、1、5、10 をサポートしています。

① **メモ:** RAID 10 はドライブ数が 4 台のシステムでのみサポートされるため、PowerEdge T40 システムは RAID 10 をサポートしていません。

ドライブの仕様

ドライブ

PowerEdge T40 システムは、次のドライブ構成をサポートしています。

表 8. ドライブ構成

構成	容量
最大 3 台の 3.5 インチのケーブル接続式 SATA ドライブ	1/2/4 TB

① **メモ:** PowerEdge T40 システムはエントリー ドライブのみサポートしています。

エントリー ドライブ: ドライブの使用率と合計数が少ない用途に適した、最も低価格なドライブ。使用に制約があるため、これらのドライブはシステムと構成が少数である場合に利用できます。

オプティカルドライブ

PowerEdge T40 システムは、次の光学ドライブをサポートしています。

表 9. サポートされている光学ドライブのタイプ

サポートされているドライブのタイプ	サポートされているドライブ数
薄型 9.5 mm SATA DVD+/-RW ドライブ	1 回

① **メモ:** 外付け光学ドライブは USB ポート経由で接続することができます。

ポートおよびコネクタの仕様

USB ポートの仕様

PowerEdge T40 システムは、以下に示す USB ポートをサポートしています。

表 10. PowerEdge T40 システム USB の仕様

前面パネル	背面パネル
<ul style="list-style-type: none">• USB 2.0 準拠 Type-A ポート (2)• USB 3.0 準拠 Type-A ポート (1)• USB 3.1 準拠 Type-C ポート (1)	<ul style="list-style-type: none">• USB 3.0 準拠 Type-A ポート (4)• USB 2.0 準拠 Type-A ポート (2)

NIC ポートの仕様

PowerEdge T40 システムは背面パネルのネットワーク インターフェイス コントローラー (NIC) ポートをサポートします。これは、10/100/1000 Mbps NIC 構成で使用可能です。

シリアルコネクタの仕様

PowerEdge T40 システムは、背面パネルでシリアルコネクタ 1 個をサポートしています。このコネクタは、9 ピンコネクタ、データ端末装置 (DTE)、16550 準拠です。

DisplayPort の仕様

PowerEdge T40 システムでは、システムの背面パネルに 2 つの DisplayPort を配置できます。

ビデオの仕様

PowerEdge T40 システムは、次をサポートしています。

- Intel Xeon E プロセッサ向け Intel UHD Graphics P630
- Intel Core i3 プロセッサ向け Intel UHD Graphics 630
- Intel Pentium Gold プロセッサ向け Intel UHD Graphics 610

環境仕様

メモ: 環境証明の詳細については、www.dell.com/support/home のマニュアル&ドキュメントにある *Product Environmental Datasheet* (製品環境データシート) を参照してください。

表 11. 温度の仕様

温度	仕様
ストレージ	-40 ~ 65°C (-40 ~ 149°F)
継続動作 (高度 900 m (2953 フィート) 未満)	10 ~ 35°C (50 ~ 95°F)、装置への直射日光なし。
外気	T40 では外気 (動作時の拡張温度) がサポートされていません。
最大温度勾配 (動作時および保管時)	20 °C/h (36 °F/h)

表 12. 相対湿度の仕様

相対湿度	仕様
ストレージ	最大露点 27°C (80.6°F) で 5 ~ 95 % の相対湿度。 空気は常に非結露状態である必要があります。
動作時	最大露点 21°C (69.8°F) で 20 ~ 80% RH。

表 13. 最大振動の仕様

最大耐久震度	仕様
動作時	0.26 G _{rms} (5 ~ 350 Hz) (全稼働方向)
ストレージ	1.88 G _{rms} (10Hz ~ 500 Hz) で 15 分間 (全 6 面で検証済)

表 14. 最大衝撃パルス仕様

最大衝撃パルス	仕様
動作時	x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス、11 ミリ秒以下で 6G。
ストレージ	x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス (システムの各面に対して 1 パルス)、2 ミリ秒以下で 71G。

表 15. 最大高度の仕様

最大高度	仕様
動作時	3048 m (10,000 ft)
ストレージ	12,000 m (39,370 フィート)

表 16. 動作時温度ディレーティングの仕様

動作時温度ディレーティング	仕様
最高 35 °C (95 °F)	900 m (2,953 フィート) を超える高度では、最高温度は 300 m (547 フィート) ごとに 1°C (1°F) 低くなります。

温度に関する制限のマトリックス

表 17. 温度に関する制限のマトリックス

周囲温度	25°C	30°C	35°C
プロセッサ	制限なし	制限なし	制限なし
DIMM	制限なし	制限なし	制限なし
ドライブ	電源が 6.8W 未満のエントリー ドライブ限定 または 1/2 TB 7200 rpm および 4 TB 5400 rpm については制限なし ⓘ メモ: PowerEdge T40 ではエンタープライズクラスのドライブはサポートされていません。		
カード	Tier 2 PCIe カードに限定 または PCIe カードは、現場の周囲温度 55°C まではシステムレベルの冷却装置を必要としない		

粒子状およびガス状汚染物質の仕様

表 18. 粒子状汚染物質の仕様

粒子汚染	仕様
空気清浄	データセンターの空気清浄レベルは、ISO 14644-1 の ISO クラス 8 の定義に準じて、95% 上限信頼限界です。
ⓘ メモ: この条件はデータセンターの環境にのみ適用されます。空気清浄要件は、事務所や工場現場などのデータセンター外での使用のために設計された IT 装置には適用されません。	
ⓘ メモ: データセンターに吸入される空気は、MERV11 または MERV13 フィルタで濾過する必要があります。	
伝導性ダスト	空気中に伝導性ダスト、亜鉛ウイスカ、またはその他伝導性粒子が存在しないようにする必要があります。
ⓘ メモ: この条件は、データセンター環境と非データセンター環境に適用されます。	
腐食性ダスト	空気中に腐食性ダストが存在しないようにする必要があります。
空気中の残留ダストは、潮解点が相対湿度 60% 未満である必要があります。	
ⓘ メモ: この条件は、データセンター環境と非データセンター環境に適用されます。	

表 19. ガス状汚染物質の仕様

ガス状汚染物	仕様
銅クーボン腐食度	クラス G1 (ANSI/ISA71.04-2013 の定義による) に準じ、ひと月あたり 300 Å 未満。
銀クーボン腐食度	クラス G1 (ANSI/ISA71.04-2013 の定義による) に準じ、ひと月あたり 200 Å 未満。
ⓘ メモ: 50% 以下の相対湿度で測定された最大腐食汚染レベル	

システム診断とインジケータ コード

システムの前面パネルにある診断インジケータには、システム起動時にシステムステータスが表示されます。



トピック：

- 前面パネルのインジケータコード
- NIC インジケータコード
- 電源装置ユニットのビルトインセルフテスト
- ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断
- 診断
- 診断エラーメッセージ
- システムエラーメッセージ

前面パネルのインジケータコード

メモ: システムの電源がオフの場合、診断インジケータは点灯しません。システムを起動するには、機能している電源に差し込み、電源ボタンを押します。

表 20. 前面パネルのインジケータコード

アイコン	説明	状態	対応処置
	ドライブインジケータ	ドライブにアクセスしている場合は、インジケータが白色に点滅します。	適用なし。
	電源オンインジケータ	インジケータは、コンポーネントの障害が発生した場合に橙色に点滅します。	これは、システムのコンポーネントの障害によるものです。詳細については、「診断」の項を参照してください。問題が解決しない場合は、該当するトラブルシューティングの項または「困ったときは」の項を参照してください。

NIC インジケータコード

背面パネルの各 NIC には、ネットワーク動作およびリンク状態に関する情報を提供するインジケータがあります。アクティビティ LED は、NIC が接続されているかどうかを示します。リンク LED は接続したネットワークの速度を示します。

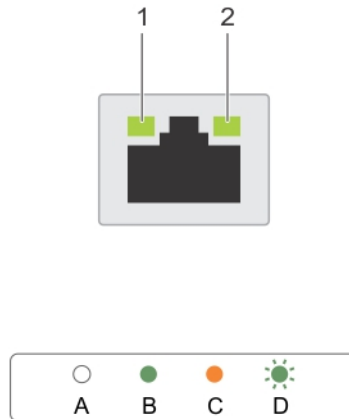


図 4. NIC インジケータ

1. リンクインジケータ
2. アクティビティインジケータ

表 21. NIC インジケータ

表記規則	ステータス	状態
A	リンクおよびアクティビティインジケータが消灯	NIC がネットワークに接続されていません。
B	リンクインジケータが緑色	NIC が 10 Mbps または 100 Mbps のポート速度で有効なネットワークに接続されています。
C	リンクインジケータが橙色	NIC が 1000 Mbps のポート速度で有効なネットワークに接続されています。
D	アクティビティインジケータが黄色に点滅しています。	ネットワークデータの送信中または受信中です。

電源装置ユニットのビルトインセルフテスト

PowerEdge T40 は、電源装置ユニットのビルトインセルフテスト (BIST) をサポートしています。

1. サーバーの電源をオフにします。
2. 電源装置ユニットから電源コードを外し、15 秒待ちます。
3. 15 秒後に、電源コードを PSU に再度接続します。
4. PSU BIST ボタンを押します。
 - BIST ボタンを押している間、LED が点灯したままになる場合は、電源装置ユニットが動作していることを示します。他のデバイスのトラブルシューティング手順を進めます。
 - LED が点灯しない場合は、PSU の障害を示しています。

電源ユニットの障害を確認する手順

障害のある電源ユニットを特定する手順を実行する

1. 電源ユニットから電源コードを外します。
 - △注意:** サーバーのコンポーネントの作業を行う場合は、安全上の注意事項に従う必要があります。
2. マザーボードと各内蔵デバイスから内蔵 PSU ケーブルを外します。
3. PSU に電源コードを接続する
4. PSU BIST ボタンを押します。

- BIST ボタンを押している間、LED が点灯したままになる場合は、電源装置ユニットが動作していることを示します。他のデバイスのトラブルシューティング手順を進めます。
- LED が点灯しない場合は、電源ユニットの障害を示しています。電源装置ユニットを取り付けます。

ePSA (強化された起動前システム アセスメント) 診断

ePSA 診断 (システム診断) では、ハードウェアの完全なチェックが行われます。ePSA には BIOS が組み込まれており、BIOS 内から起動されます。組み込み型システム診断プログラムには、特定のデバイス グループや各デバイス用の一連のオプションが用意されており、以下の処理が可能です。

ePSA 診断は、コンピューターの起動中に F12 を押して、One-Time ブート メニューから開始できます。

- テストは自動的に、または対話モードで実行できます。
- テストを繰り返します。
- テスト結果を表示または保存します。
- 詳細なテストで追加のテスト オプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得ます。
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータス メッセージを表示します。
- テスト中に発生した問題の情報を知らせるエラーメッセージを表示

メモ: 特定のデバイスに対するテストでは、ユーザーの介入が必要な場合があります。診断テストの実行中は、コンピューターの端末から離れないようにしてください。

ePSA 診断の実行

以下に示すいずれかの方法で、起動時の診断を開始します。

1. システムに電源を入れます。
2. システムが起動し、Dell のロゴが表示されたら F12 キーを押します。
3. ブートメニュー画面で上下の矢印キーを使用して [Diagnostics] オプションを選択し、[Enter] を押します。

メモ: [Enhanced Pre-boot System Assessment] ウィンドウが表示され、システム内で検出された全デバイスがリストアップされます。診断が検出された全デバイスのテストを開始します。
4. 右下にある矢印を押すと、ページのリストが表示されます。検出されたアイテムが表示され、テストされます。
5. 特定のデバイスで診断テストを実行するには、<Esc> を押して [はい] をクリックし、診断テストを中止します。
6. 左のパネルからデバイスを選択し、[テストの実行] をクリックします。
7. 問題がある場合、エラーコードが表示されます。エラーコードをメモしてデルに連絡してください。

診断

[電源ステータスライト:] 電源ステータスを示します。

[橙色の点灯] – システムがオペレーティングシステムを起動できません。電源装置またはシステム内の別のデバイスに障害が発生したことを示しています。

[橙色の点滅] – システムがオペレーティングシステムを起動できません。電源装置は正常ですが、システム内の別のデバイスに障害が発生したか正しく取り付けられていません。

メモ: 障害が発生したデバイスを特定するには、ライトのパターンを確認します。

[消灯] – システムが休止状態、または電源が切れています。

電源ステータスライトが障害を示すビープコードと合わせて橙色に点滅します。

たとえば電源ステータスライトが橙色で 2 回点滅し、間を置いて 5 回点滅するというパターンを繰り返す場合があります。コンピューターの電源を切るまでこの 2 回/5 回のパターンが続く場合は、リカバリーイメージが見つからないことを示しています。

次の表は、様々なライトパターンとその内容を示しています。

表 22. 診断 LED コードとビーブコード

LED の点滅回数/ビーブコード	問題の内容	障害
2,1	システム基板の障害	システム基板の障害
2,2	障害が発生したシステム基板、電源ユニット (PSU)、またはケーブル接続	障害が発生したシステム基板、電源ユニット (PSU)、またはケーブル接続
2,3	障害が発生したシステム基板、CPU、または DIMMS	障害が発生したシステム基板、電源ユニット (PSU)、または DIMMS
2,4	コイン型電池の不良	コイン型電池の不良
2,5	BIOS Recovery	AutoRecovery トリガー、リカバリーイメージが見つからないか無効です
2,6	CPU	CPU エラー
2,7	メモリ	メモリー SPD の障害
3,3	メモリ	メモリが検知されませんでした。
3,5	メモリ	モジュールの互換性がないか設定が無効です
3,6	BIOS Recovery	オンデマンドトリガー、リカバリーイメージが見つかりません
3,7	BIOS Recovery	オンデマンドトリガー、リカバリーイメージが無効です

エラーが発生したか問題を表示できない場合、システムの起動時に一連のビーブ音が鳴ることがあります。繰り返しのビーブコードはユーザーがシステムの問題をトラブルシューティングするのに便利です。

診断エラーメッセージ

表 23. 診断エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明
AUXILIARY DEVICE FAILURE	タッチパッドまたは外付けマウスが故障している可能性があります。外付けマウスのケーブル接続を確認してください。システムセットアッププログラムの [Pointing Device] オプションを有効にします。
BAD COMMAND OR FILE NAME	コマンドのスペルは正しいか、空白の位置は正しいか、パス名は正しいかを確認してください。
CACHE DISABLED DUE TO FAILURE	マイクロプロセッサ内蔵の1次キャッシュに障害が発生しました。 デルへのお問い合わせ
CD DRIVE CONTROLLER FAILURE	コンピュータからのコマンドにオプティカルドライブが応答しません。
DATA ERROR	ハードドライブからデータを読むことができません。
DECREASING AVAILABLE MEMORY	1つ以上のメモリモジュールが故障しているか、適切に取り付けられていません。メモリーモジュールを取り付け直すか、必要があれば交換します。
DISK C: FAILED INITIALIZATION	ハードディスクドライブの初期化に失敗しました。[Dell Diagnostics] でハードドライブテストを実行します。
DRIVE NOT READY	この操作を続行するには、ハードドライブベイにハードドライブを取り付けている必要があります。ハードドライブベイにハードドライブを取り付けます。
ERROR READING PCMCIA CARD	コンピュータが ExpressCard を識別できません。カードを再度挿入するか、別のカードを試してください。

表 23. 診断エラーメッセージ (続き)

エラーメッセージ	説明
EXTENDED MEMORY SIZE HAS CHANGED	不揮発性メモリー (NVRAM) に記録されているメモリー量が、コンピューターにインストールされているメモリー量と一致しません。コンピューターを再起動します。エラーが再度表示される場合は、 デルにお問い合わせください 。
THE FILE BEING COPIED IS TOO LARGE FOR THE DESTINATION DRIVE	コピーしようとしているファイルがディスクに対して大きすぎるか、ディスクがいっぱいになっています。別のディスクにファイルをコピーするか、容量が大きなディスクを使用してください。
A FILENAME CANNOT CONTAIN ANY OF THE FOLLOWING CHARACTERS: \ / : * ? " < > -	これらの文字はファイル名には使用しないでください。
GATE A20 FAILURE	メモリー モジュールの接続に問題がある可能性があります。メモリー モジュールを取り付け直すか、必要があれば交換します。
GENERAL FAILURE	オペレーティングシステムはコマンドを実行できません。通常このメッセージには特定の情報が続きます。例: Printer out of paper. Take the appropriate action.
HARD-DISK DRIVE CONFIGURATION ERROR	コンピューターがドライブ タイプを識別できません。コンピューターをシャットダウンし、ハードドライブを取り外して、光学ドライブからコンピューターを起動します。次にコンピューターをシャットダウンし、ハードドライブを取り付け直して、コンピューターを再起動します。[Dell Diagnostics] で [ハードディスク ドライブ] テストを実行します。
HARD-DISK DRIVE CONTROLLER FAILURE 0	コンピューターからのコマンドにハードドライブが応答しません。コンピューターをシャットダウンし、ハードドライブを取り外して、光学ドライブからコンピューターを起動します。次にコンピューターをシャットダウンし、ハードドライブを取り付け直して、コンピューターを再起動します。問題が解決しない場合は、別のドライブを試してください。[Dell Diagnostics] で [ハードディスク ドライブ] テストを実行します。
HARD-DISK DRIVE FAILURE	コンピューターからのコマンドにハードドライブが応答しません。コンピューターをシャットダウンし、ハードドライブを取り外して、光学ドライブからコンピューターを起動します。次にコンピューターをシャットダウンし、ハードドライブを取り付け直して、コンピューターを再起動します。問題が解決しない場合は、別のドライブを試してください。[Dell Diagnostics] で [ハードディスク ドライブ] テストを実行します。
HARD-DISK DRIVE READ FAILURE	ハードドライブに障害がある可能性があります。コンピューターをシャットダウンし、ハードドライブを取り外して、光学ドライブからコンピューターを起動します。次にコンピューターをシャットダウンし、ハードドライブを取り付け直して、コンピューターを再起動します。問題が解決しない場合は、別のドライブを試してください。[Dell Diagnostics] で [ハードディスク ドライブ] テストを実行します。
INSERT BOOTABLE MEDIA	オペレーティングシステムは、光学ドライブなどの起動できないメディアで起動しようとしています。起動可能なメディアを挿入してください。
INVALID CONFIGURATION INFORMATION-PLEASE RUN SYSTEM SETUP PROGRAM	システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。このメッセージが表示されるのは、多くの場合メモリー モジュールの取り付け後になります。システム セットアップ プログラムの該当するオプションを変更します。
KEYBOARD CLOCK LINE FAILURE	外付けキーボードのケーブル接続を確認してください。[Dell Diagnostics] で [キーボード コントローラー] テストを実行します。

表 23. 診断エラーメッセージ (続き)

エラーメッセージ	説明
KEYBOARD CONTROLLER FAILURE	外付けキーボードのケーブル接続を確認してください。コンピューターを再起動します。起動ルーチンが終了するまでキーボードやマウスには触らないでください。[Dell Diagnostics] で [キーボードコントローラー] テストを実行します。
KEYBOARD DATA LINE FAILURE	外付けキーボードのケーブル接続を確認してください。[Dell Diagnostics] で [キーボードコントローラー] テストを実行します。
KEYBOARD STUCK KEY FAILURE	外付けキーボードまたはキーパッドのケーブル接続を確認してください。コンピューターを再起動します。起動ルーチンが終了するまでキーボードやキーには触らないでください。[Dell Diagnostics] で [スタック キー] テストを実行します。
LICENSED CONTENT IS NOT ACCESSIBLE IN MEDIADIRECT	Dell MediaDirect では、そのファイルのデジタル権限管理 (DRM) 制限が検証できないので、そのファイルは再生できません。
MEMORY ADDRESS LINE FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールが故障しているか、適切に取り付けられていません。メモリーモジュールを取り付け直すか、必要があれば交換します。
MEMORY ALLOCATION ERROR	実行しようとしているソフトウェアが、オペレーティングシステム、他のプログラム、またはユーティリティと拮抗しています。コンピューターをシャットダウンし、30 秒待ってから再起動します。プログラムを再度実行します。それでもエラーメッセージが表示される場合は、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
MEMORY DOUBLE WORD LOGIC FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールが故障しているか、適切に取り付けられていません。メモリーモジュールを取り付け直すか、必要があれば交換します。
MEMORY ODD/EVEN LOGIC FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールが故障しているか、適切に取り付けられていません。メモリーモジュールを取り付け直すか、必要があれば交換します。
MEMORY WRITE/READ FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールが故障しているか、適切に取り付けられていません。メモリーモジュールを取り付け直すか、必要があれば交換します。
NO BOOT DEVICE AVAILABLE	コンピューターがハードドライブを見つけることができません。ハードドライブが起動デバイスである場合、ドライブが取り付けられて適切に設置されていること、および起動デバイスとしてパーティション分割されていることを確認してください。
NO BOOT SECTOR ON HARD DRIVE	オペレーティングシステムが破損している可能性があります。 デルにお問い合わせください。
NO TIMER TICK INTERRUPT	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。[Dell Diagnostics] で [システム設定] テストを実行します。
NOT ENOUGH MEMORY OR RESOURCES. EXIT SOME PROGRAMS AND TRY AGAIN	開いているプログラムが多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。
OPERATING SYSTEM NOT FOUND	OS の再インストール。問題が解決しない場合は、 デルにお問い合わせください。
OPTIONAL ROM BAD CHECKSUM	オプションの ROM に障害が発生しました。 デルにお問い合わせください。
SECTOR NOT FOUND	オペレーティングシステムがハードドライブ上のセクターを見つけることができません。ハードドライブの一部のセクターに障害があるか、File Allocation Table (FAT) が破損している可能性があります。Windows のエラーチェック ユーティリティ

表 23. 診断エラーメッセージ (続き)

エラーメッセージ	説明
	ーを実行し、ハードドライブのファイル構造をチェックします。手順については、[Windows のヘルプとサポート [[スタート]] > [[ヘルプとサポート]]) を参照してください。多くのセクターに障害がある場合は、可能であればデータをバックアップして、ハードドライブをフォーマットします。
SEEK ERROR	オペレーティングシステムがハードディスクドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。
SHUTDOWN FAILURE	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。[Dell Diagnostics] で [システム設定] テストを実行します。メッセージが再度表示される場合は、 デルにお問い合わせください 。
TIME-OF-DAY CLOCK LOST POWER	システム構成の設定に問題があります。コンピューターを電源コンセントに接続して、バッテリーに充電します。問題が解決しない場合は、システムセットアッププログラムでデータの復元を試みてから、直ちにプログラムを終了してください。メッセージが再度表示される場合は、 デルにお問い合わせください 。
TIME-OF-DAY CLOCK STOPPED	システム構成の設定をサポートする予備バッテリーの再充電が必要になる場合があります。コンピューターを電源コンセントに接続して、バッテリーに充電します。問題が解決しない場合は、 デルにお問い合わせください 。
TIME-OF-DAY NOT SET-PLEASE RUN THE SYSTEM SETUP PROGRAM	システムセットアッププログラムに保存されている時刻または日付が、システムの時計と一致しません。[[Date and Time]] オプションの設定を修正します。
TIMER CHIP COUNTER 2 FAILED	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。[Dell Diagnostics] で [システム設定] テストを実行します。
UNEXPECTED INTERRUPT IN PROTECTED MODE	キーボードコントローラーが誤動作しているか、メモリーモジュールの接続に問題がある可能性があります。[Dell Diagnostics] で [システムメモリー] テストと [キーボードコントローラー] テストを実行するか、 デルにお問い合わせください 。
X:\ IS NOT ACCESSIBLE. THE DEVICE IS NOT READY	ディスクをドライブに挿入し、操作をやり直してください。

システムエラーメッセージ

表 24. システムエラーメッセージ

システムメッセージ	説明
Alert! Previous attempts at booting this system have failed at checkpoint [nnnn]. For help in resolving this problem, please note this checkpoint and contact Dell Technical Support	同じエラーによって、コンピュータは3回連続して起動ルーチンを終了できませんでした。
CMOS checksum error	RTC がリセットされ、[BIOS セットアップ] のデフォルトがロードされています。
CPU fan failure	CPU ファンに障害が発生しました。
System fan failure	システムファンに障害が発生しました。
Hard-disk drive failure	POST 中にハードディスクドライブに障害が発生した可能性があります。

表 24. システムエラーメッセージ (続き)

システムメッセージ	説明
Keyboard failure	キーボードに障害が発生したか、ケーブルがしっかりと接続されていません。ケーブルをつなぎ直しても問題が解決しない場合はキーボードを交換してください。
No boot device available	ハードディスクドライブ上に起動可能なパーティションが存在しないか、ハードドライブケーブルがしっかりと接続されていないか、または起動可能なデバイスが存在しません。 <ul style="list-style-type: none"> ● ハードドライブが起動デバイスの場合、ケーブルがドライブに適切に取り付けられていて、起動デバイスとしてパーティション分割されていることを確認します。 ● セットアップユーティリティを起動して、起動順序の情報が正しいか確認します。
No timer tick interrupt	システム基板上のチップが誤動作しているか、またはマザーボードに障害が発生している可能性があります。
NOTICE - Hard Drive SELF MONITORING SYSTEM has reported that a parameter has exceeded its normal operating range. Dell recommends that you back up your data regularly. A parameter out of range may or may not indicate a potential hard drive problem	S.M.A.R.T エラー、ハードディスクドライブに障害の可能性があります。